Agilent E5071C ENA シリーズ RF ネットワーク・アナライザ

インスタレーション・ガイド

第 4 版

Agilent Technologies

製造番号： N/A

2007 年 11 月

ご注意

アジレント・テクノロジーは、本書について、商品性および特定目的への適合性の暗黙の保証を含め、いかなる保証もいたしません。アジレント・テクノロジーは、本書の内容の誤り、あるいは本書の利用に伴う偶発的、必然的を問わずいかなる損害に対しても責任を負いません。

本書には著作権によって保護される内容が含まれます。すべての版権は、アジレント・テクノロジーが所有しています。本書の内容を、アジレント・テクノロジーの書面による同意なしに、複製、改変、および翻訳することは禁止されています。

Microsoft®,MS-DOS®,Windows®,Visual C++®,Visual Basic®,VBA® 及び Excel® は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Java® は Sum Microsystems Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

© Copyright 2006、2007 Agilent Technologies

印刷履歴

説明書の版は印刷日と説明書の Agilent 部品番号によって決められています。新しい版が発行された場合は印刷日が変更されます。製品の機能変更などにより説明書が変更された場合には、Agilent 部品番号も変更されます。

2006 年 10 月　　第 1 版

2007 年 4 月　　第 2 版

2007 年 8 月　　第 3 版

2007 年 11 月　　第 4 版

使用上の安全について

本器を正しく安全に使用していただくため、本器の操作、保守、修理にあたっては下記の安全注意警告事項を必ずお守りください。下記の安全注意警告事項および本マニュアル中の**警告**の印のある事項をお守りいただけない場合、損害が生じることがあります。さらにこれは安全規格で要求されている設計、生産、使用に関する諸事項に本器が適合している事を無効にすることになります。

なお、この注意に反したご使用により生じた損害についてはアジレント・テクノロジーは責任と保証を負いかねます。

注記

E5071C は、IEC61010-1 の設置カテゴリー II および汚損度 2 の製品です。
E5071C は、屋内使用専用の製品です。

注記

E5071C で使用されている LED は、IEC60825-1 のクラス 1 です。
クラス 1 LED 製品

- **機器は接地してください**

  AC 電源による電撃事故を防ぐために本器のシャーシ並びにキャビネットを付属の接地線のある 3 極電源ケーブルを使用して必ず接地してください。

- **爆発の危険性のある場所では使用しないでください**

  可燃性のガスまたは蒸気のある場所では機器を動作させないでください。電気機器をこのような場所で使用することは非常に危険です。

- **通電されている回路には触れないでください**

  使用者が機器のカバーを取りはずすことはしないでください。部品の交換や内部調整については当社で認定した人以外は行わないでください。電源ケーブルを接続したままで、部品交換をしないでください。また、電源ケーブルを取りはずしても危険電圧が残っていることがあります。傷害を避けるため、機器内部に触れる前に必ず電源を切り回路の放電を行ってください。

- **一人で保守、調整をしないでください**

  機器内部の保守や調整を行う場合は、万一事故が起きてもただちに救助できる人がいる場所で行ってください。

- **部品を変更したり、機器の改造をしないでください**

  新たな危険の発生を防ぐため、部品の変更や、当社指定以外の改造を本機器に対して行わないでください。修理やその他のサービスが必要な場合は、最寄りのアジレント・テクノロジーのサービス／セールス・オフィスにご連絡ください。

- **警告事項は必ずお守りください**

  本書に記載されているすべての**警告**（下記に例を示します）は、重大事故に結びつく危険を未然に防止するためのものです。ここに記載されている指示は必ずお守りください。

警告

本機器の内部には、感電死の恐れのある危険電圧があります。試験、調整、および取扱い時には細心の注意を払ってください。

安全上のシンボル

本機器やマニュアルで使用されている安全上のシンボルや表記の一般定義を以下に示します。

このシンボルが機器に表示されている場合、使用者は取扱説明書を参照する必要があります。

このシンボルは交流を示しています。

このシンボルは直流を示しています。

このシンボルは電源スイッチの「入」を示しています。

このシンボルは電源スイッチの「切」を示しています。

このシンボルは電源スイッチの「入の状態」を示しています。

このシンボルは電源スイッチの「切の状態」を示しています。

このシンボルはシャーシ（またはキャビネット）端子を示しています。機器の外部シャーシ（またはキャビネット）部と接続されている端子であることを示しています。

このシンボルは電源スイッチの「スタンバイ」を示しています。

警告

この表記は警告を示しています。機器の取扱い方法や手順で、感電など、取扱者の生命や身体に危険がおよぶ恐れがある場合に、その危険を避けるための情報が記されています。

注意

この表記は**注意**を示しています。機器の取扱い方法や手順で、機器を損傷する恐れがある場合に、その損傷を避けるための情報が記されています。

注記

この表記は**注記**を示しています。機器の取扱い方法や手順での重要な情報が記されています。

品質の保証

アジレント・テクノロジーは、工場出荷時の本製品が、マニュアルに記載された仕様を満たしていることを保証します。さらに、本製品の校正測定法が、米国国立標準技術研究所（United States National Institute of Standards and Technology）の校正測定標準や、同研究所で認められた校正法の拡張、他の ISO メンバーの校正法に準拠したものであることを保証します。

責任の限定

購入者は、本機器使用時の全責任を負担するものとします。当社は、本機器を使用することによって発生する、直接、間接、特別、偶然または必然的な損害に対し、たとえその損害が発生することが知らされていても、また不法行為／合法行為を問わず、一切の責任を負いません。

サービス

アジレント・テクノロジーの製品についてのご質問、定期校正および修理については、最寄りの当社セールス・オフィスまたは当社指定のサービス会社にご連絡ください。当社セールス・オフィスの住所は、本書の裏表紙に記載しています。

本書の書体の決まり

Sample	太字は強調を表します。
Sample	イタリック体は英文における強調およびマニュアル・タイトルを表します。
[Sample] キー	Sample というキー・ラベルを持つハードキー（フロント・パネル上のキーまたは外付けキーボード上のキー）を表します。「キー」は省略されることもあります。
Sample メニュー／ボタン／ボックス／タブ	Sample というラベルを持ち、クリックする（または押す）ことで選択・実行が可能な画面上のメニュー、ボタン、またはボックスを表します。「メニュー」、「ボタン」、「ボックス」、「タブ」は省略されることもあります。
[Sample] > **Item**	一連のキー操作を表します。この例では、ハードキー **[Sample]** を押した後、ソフトキー **Item** をクリックします。

目次

第 1 章 . 本書の概要

E5071C マニュアル 10
本書の内容 10

第 2 章 . インスタレーション

開梱時の検査 13
設置環境の確保 14
動作環境. 14
放熱空間. 15
静電対策. 16
電源ケーブルのプラグを引き抜くための空間確保. 16
フロント・ハンドル / ラック搭載用フランジの取り付け 17
ハンドル・キット (オプション 1CN) の取り付け. 18
ラックマウント・キット (オプション 1CM) の取り付け. 19
ラックマウント / ハンドル・キット (オプション 1CP) の取り付け. 19
アクセサリの接続 20
BNC アダプターの接続 (オプション 1E5). 20
マウス、キーボードの接続. 20
電源について 21
供給電源の確認. 21
電源ケーブルの確認と接続. 21
ヒューズ切れについて. 23
E5071C の起動 24
電源のオン・オフ 24
電源供給の切断について. 26
リムーバブル・ハードディスクの付け方 / 外し方 (For Option 017 User). 27
E5071C の初期登録 28
タッチスクリーンの補正 30

第 3 章 . トラブルシューティング

起動時のトラブルとその対処法 32
システム・リカバリ 33
システム・リカバリの種類. 33
ファクトリ・リカバリ実行時の注意点. 33
ファクトリ・リカバリの実行手順. 34
ユーザ・バックアップ・イメージの作成. 37
ユーザ・リカバリの実行手順. 43

第１章　本書の概要

本章では、本書を有効に利用していただくために本書の内容、およびAgilent E5071Cの製品概要について説明します。E5071Cを初めてお使いになる場合は、まず本書をご覧ください。

E5071C マニュアル

E5071C 用に以下の 3 種類のマニュアルが用意されています。これらのマニュアルの最新版は下記の URL からダウンロードして頂けます。

http://www.agilent.com/find/ena_support/

インスタレーション・ガイド

初めて E5071C をお使いいただく場合のセットアップおよび Windows が起動しない場合のトラブル･シューティングに関する情報が記載されています。

オンライン・ヘルプ

操作方法、プログラミング、 内蔵 VBA および I/O インターフェースの情報が記載されています。

オンライン・ヘルプはあらかじめ E5071C にインストールされています。フロントパネルの [Help] ハードキーを押すことによって、開きます。

サービス・ガイド

パーツ、トラブル･シューティング、パフォーマンステスト、アジャストメントおよびサービスメニューに関する情報が記載されています。

本書の内容

本書の内容は以下のとおりです。第 1 章から第 3 章は英語版です。

- 第 1 章「本書の概要」

  本章では、本書を有効に利用していただくために本書の内容、および Agilent E5071C の製品概要について説明します。E5071C を初めてお使いになる場合は、まず本書をご覧ください。

- 第 2 章「インスタレーション」

  本章では、Agilent E5071C のセットアップについての必要な情報が記載されています。

- 第 3 章「トラブルシューティング」

  本章では、起動時のトラブルの対処法および Windows XP が故障した場合のオペレーティング・システムのリカバリついて説明します。

第 2 章　インスタレーション

本章では、Agilent E5071C のセットアップについての必要な情報が記載されています。

本章の内容

❑ **開梱時の検査**（13 ページ）

製品がお手元に届いた時に、梱包内容について検査します。

❑ **設置環境の確保**（14 ページ）

E5071C を設置する際の動作環境や放熱空間の確保について説明します。

❑ **フロント･ハンドル / ラック搭載用フランジの取り付け**（17 ページ）

E5071C を運搬するのに使うフロント･ハンドル、ラックに組み込む際のフランジを取り付けます。

❑ **アクセサリの接続**（20 ページ）

E5071C にマウス、キーボード、BNC アダプタを接続します。

❑ **電源について**（21 ページ）

電源、電源ケーブルを確認し、電源ケーブルを接続します。

❑ **E5071C の起動**（24 ページ）

電源のオン･オフ、電源供給の切断について説明します。

❑ **E5071C の初期登録**（28 ページ）

E5071C ウィンドウズ XP オペレーティングシステムの初期登録について説明します。

❑ **タッチスクリーンの補正**（30 ページ）

タッチスクリーンの補正について説明します。

開梱時の検査

製品がお手元に届きましたら、以下の手順に従って開梱時の検査を行ってください。

警告

開梱時、製品外部（例えば、カバー、フロント / リア・パネル、LCD ディスプレイ電源スイッチ、ポートコネクタなど）が搬送中に損傷を受けた形跡があるようであれば、電源を投入しないでください。感電する恐れがあります。

手順 1. 製品を梱包した箱や衝撃吸収材に損傷がないか確認してください。

注記

箱または衝撃吸収材に損傷がある場合には、以下の他の検査が確認されるまでは、箱または衝撃吸収材をそのままの状態にしておいてください。

手順 2. 製品に付属されている梱包内容品に機械的な損傷または欠陥がないか確認してください。

手順 3. 同封の梱包内容品リストを参照しながら、製品に付属されている梱包内容品が、指定のオプション通りにすべて揃っているか確認してください。

手順 4. 検査の結果、以下のいずれかの場合には最寄りのアジレント・テクノロジー営業所にご連絡ください。

1. 製品を梱包した箱や衝撃吸収材に損傷がある場合、衝撃吸収材に極度の力が加わった形跡がある場合
2. 製品に付属されている梱包内容品に機械的な損傷または欠陥がある場合
3. 製品に付属されている梱包内容品が不足している場合
4. この後の製品の動作確認において異常が確認された場合

また、1 の場合には最寄りのアジレント・テクノロジー営業所のほかに、製品の運送業者にも連絡してください。運送業者による検査のために製品を梱包した箱、衝撃吸収材、梱包内容品をそのままの状態ですべて保存しておいてください。

設置環境の確保

E5071C を設置する際は、以下のような条件を満たす環境下で設置してください。

動作環境

E5071C は、次のような環境下で使用してください。

温度	5 ℃ ～ 40 ℃
校正時温度範囲	23 ℃ ± 5 ℃（校正実行時温度から 1 ℃ 以内）
湿度	20% ～ 80%、湿球温度 < 29 ℃（結露しないこと）
高度	0 ～ 2,000 m (0 ～ 6,561 feet)
振動	最大 0.21 G、5 Hz ～ 500 Hz

注記

上記の動作環境は、E5071C のすべての仕様や測定確度を満たす条件ではなく、E5071C が正常に動作する条件を示しています。

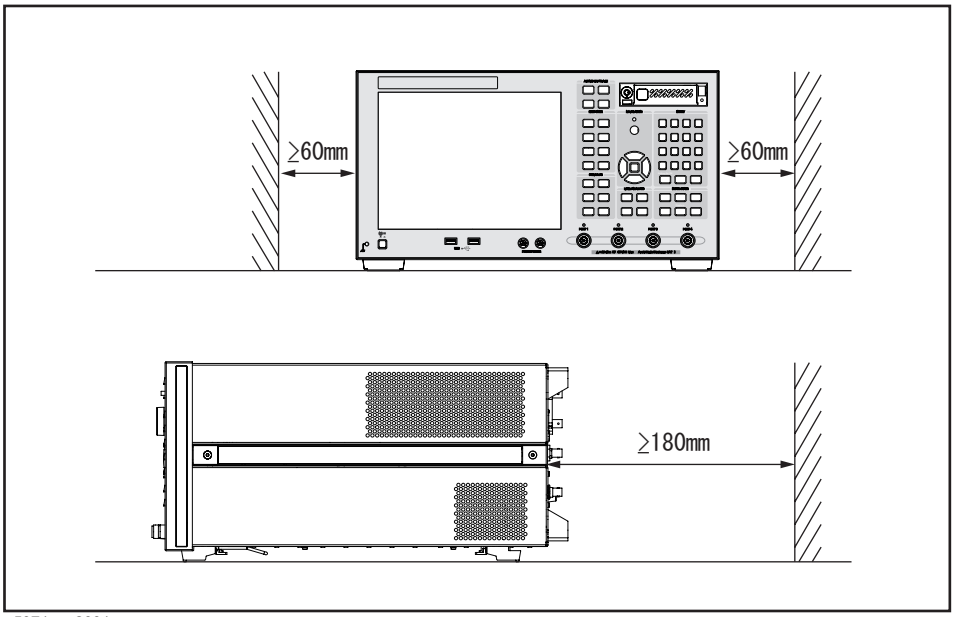
放熱空間

製品の安全性、仕様、および測定確度を満たすためには、製品の周辺に適切な放熱空間を確保したり、ラック搭載時にはラック内を強制空冷するなどして、製品の周辺温度を一定の範囲内に保つ必要があります。製品の仕様や測定確度を満たすための周辺温度については、*E5071C Online Help* の仕様の章をご覧ください。

製品の周辺温度を動作環境仕様の温度範囲内（「動作環境」（14 ページ）参照）に保った場合、製品は安全規格に適合します。さらに、その温度環境下のもとで以下の放熱空間を取って製品を設置した場合にも、製品は安全規格に適合します。

	条件
後部	≥ 180 mm
側部	≥ 60 mm（左右それぞれ）

図 2-1　放熱空間の確保



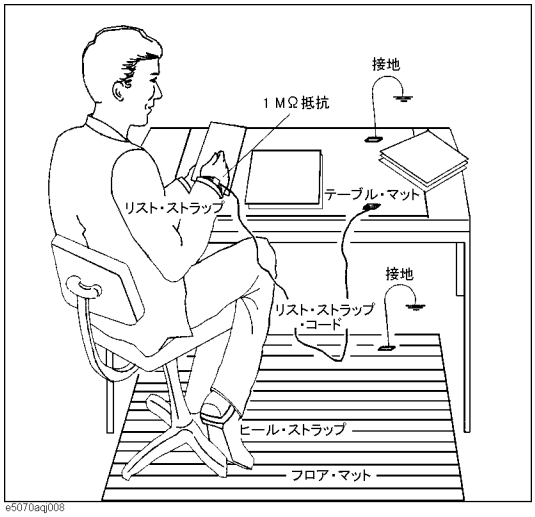
e5071cqe2001

注記　電源投入後は図 2-1 のように、E5071C の底面を下にした状態で使用して下さい。

静電対策

静電気による電子部品の破損を防ぐために、図 2-2 に示すように静電対策を行います。

図 2-2 静電対策の例



電源ケーブルのプラグを引き抜くための空間確保

「電源供給の切断について」（26 ページ）に示すように、E5071C の断路装置（電源供給を切断する装置）は電源ケーブルのプラグです。E5071C を設置する際は、緊急時に電源ケーブルのプラグ（電源コンセント側または E5071C 側）を引き抜いて電源供給を断つ操作を妨げないように、十分な空間を確保してください。

フロント･ハンドル / ラック搭載用フランジの取り付け

E5071C は、作業台の上もしくはラックに組み込むことができます。この節では、移動、運搬時などに利用するフロント･ハンドルを取り付ける方法（オプション 1CN）、および測定システムの一部としてラックに組み込む方法（オプション 1CM: ハンドルなし、オプション 1CP: ハンドルあり）を説明します。

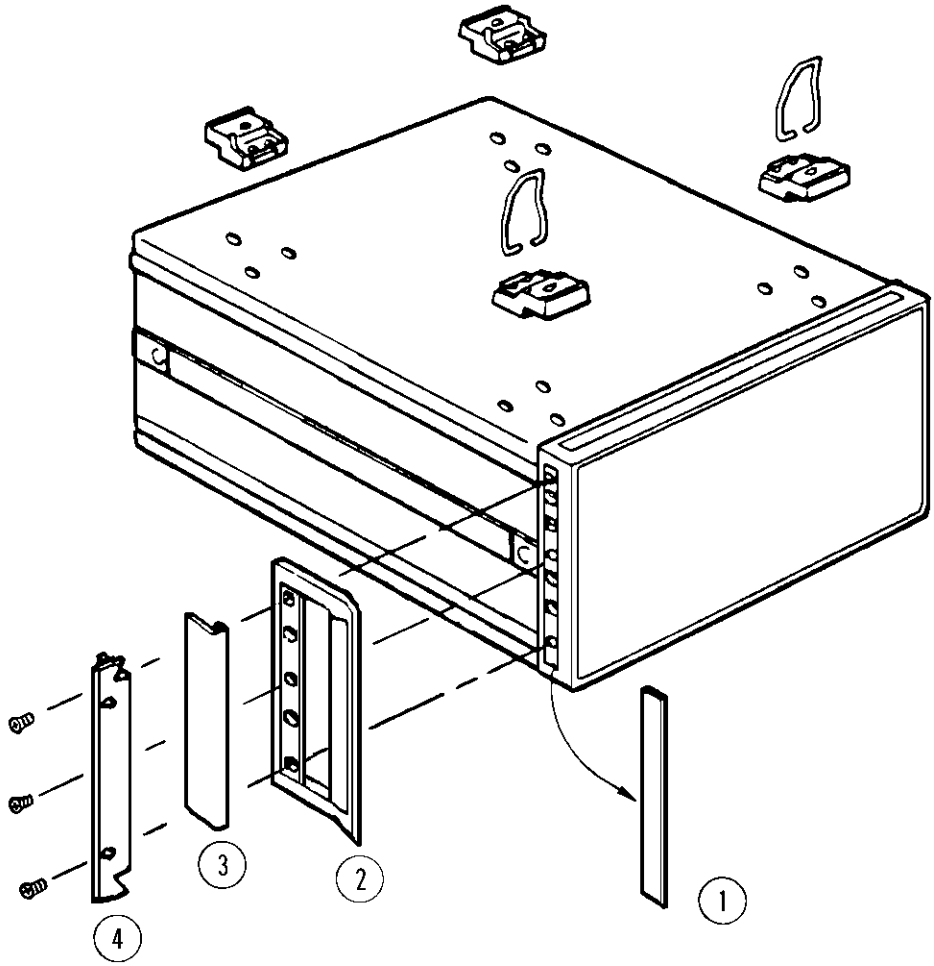
表 2-1　E5071C ハンドル・ラックオプション

オプション	名称	Agilent 部品番号
1CN	ハンドル・キット	5063-9229
1CM	ラックマウント・キット	5063-9216
1CP	ラックマウント / ハンドル・キット	5188-4430

表 2-2　各オプション･キットの付属品

オプション	付属品	数量
1CN	フロント･ハンドル	2
	ネジ	6
	化粧板	2
1CM	ラック搭載用フランジ（固定用側板）	2
	ネジ	6
1CP	ラック搭載用フランジ（固定用側板）	2
	フロント･ハンドル	2
	ネジ	8

図 2-3 ハンドル / ラックマウント･キットの取り付け



ハンドル･キット（オプション 1CN）の取り付け

ハンドル･キットは、E5071C を移動、運搬する際に利用する 1 組のフロント･ハンドルのキットです。図 2-3 を参照しながら、以下の手順で取り付けてください。

手順 1. フロント･パネルの両側面に貼り付けてある化粧版 ①（フレームに粘着しています）をはがします。

手順 2. フロント･ハンドル ② を付属のねじで E5071C のフロント･パネルの両側面に取り付けます。

手順 3. ハンドル用の化粧板 ③ をフロント･ハンドルを固定したネジを覆うように取り付けます。

警告 **取り付けたフロント・ハンドルが損傷を受けた場合は、直ちに新しいものに交換してください。損傷を受けた状態のフロント・ハンドルを移動や運搬に利用すると、ハンドルが壊れて作業者がけがをしたり測定器を壊したりする可能性があります。**

ラックマウント・キット（オプション 1CM）の取り付け

手順 1. ラックマウント・キットは、E5071C を EIA 規格の標準ラック（幅 482.6mm）に組み込むための 2 つのフランジ（固定用側板）のキットです。図 2-3 を参照しながら、以下の手順で取り付けてください。

手順 1. フロント・パネルの両側面に貼り付けてある化粧版 ①（フレームに粘着しています）をはがします。

手順 2. ラック搭載用フランジ ④ を付属のねじで E5071C のフロント・パネルの両側面に取り付けます。

手順 3. E5071C の底面にある 4 つの脚を取り外します（TAB と書かれた部分を引き上げ、矢印の方向へスライドします）。

E5071C をラックに組み込みます。

ラックマウント / ハンドル・キット（オプション 1CP）の取り付け

ラックマウント / ハンドル・キットは、E5071C のラック搭載用フランジとフロント・ハンドルの両方が含まれているキットです。図 2-3 を参照しながら、以下の手順で取り付けてください。

手順 1. フロント・パネルの両側面に貼り付けてある化粧版 ①（フレームに粘着しています）をはがします。

手順 2. フロント・ハンドル ② とラック搭載用フランジ ④ を付属ねじで E5071C のフロント・パネルの両側面に取り付けます。

注意 **かならずフロントハンドルとラック搭載用フランジ両方を同時に取り付けてください。同時に使用しない場合、ねじの長さにより機器が重大な損傷を受けます。**

手順 3. E5071C の底面にある 4 つの脚を取り外します（TAB と書かれた部分を引き上げ、矢印の方向へスライドします）。

手順 4. E5071C をラックに組み込みます。

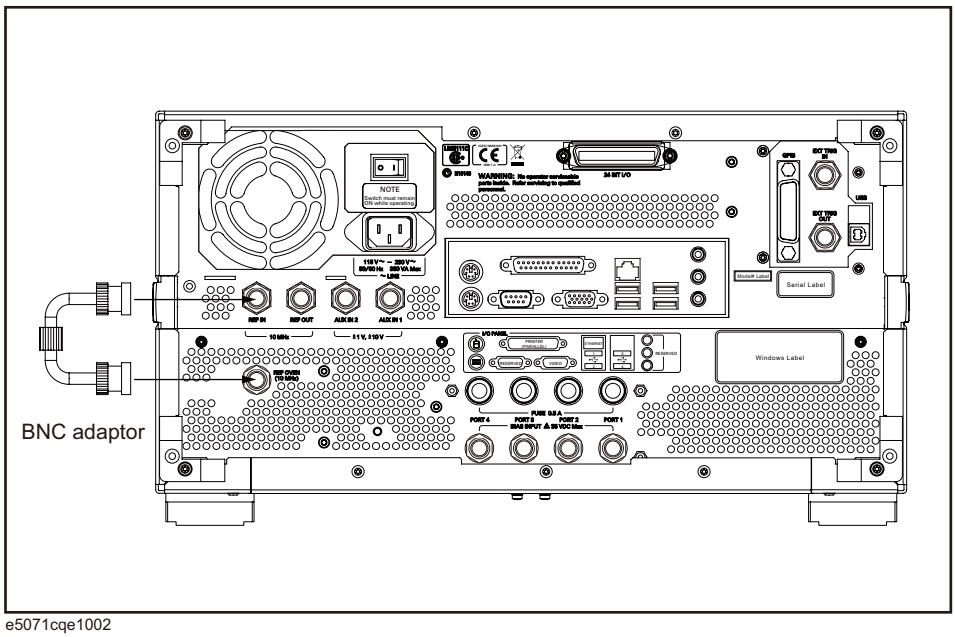
アクセサリの接続

ご使用の前にアクセサリを接続してください。

BNC アダプターの接続（オプション 1E5）

E5071C にオプション 1E5（高安定周波数基準）がインストールされている場合、図 2-4 に示すとおり、リアパネルの Ref Oven 端子と Ref In 端子間に BNC アダプターを接続します。BNC アダプターはオプション 1E5 に含まれています。オプション 1E5 によって、周波数確度と安定性がさらに向上します。

図 2-4　BNC アダプターの接続



e5071cqe1002

マウス、キーボードの接続

E5071C では、USB または PS/2 を通してマウス、キーボードを接続することができます。USB マウスやキーボードはフロント・パネルまたはリア・パネルの USB ポートに接続してください。

E5071C の初期登録時には、電源投入前にマウスとキーボードを接続する必要があります。

電源について

E5071C の電源を投入する前に、以下のことについて確認してください。

供給電源の確認

E5071C に供給される電源が以下の条件を満たすことを確認してください。

	条件
電圧	90 ～ 132 Vac または 198 ～ 264 Vac*1
周波数	47 ～ 63 Hz
消費電力	最大 350 VA

*1. E5071C が電圧に合わせて自動で切り替えます。

電源ケーブルの確認と接続

E5071C に付属している電源ケーブルは 3 芯構造をしていて、1 本が接地線になっています。この電源ケーブルを用いることにより、電源コンセントを介して E5071C を接地することができ、作業者を感電事故から守ります。

手順 1. 使用する電源ケーブルが損傷を受けていないか確認します。

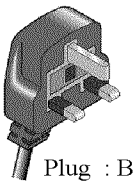
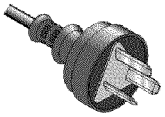
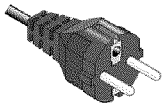
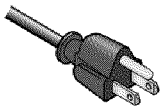
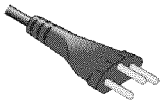
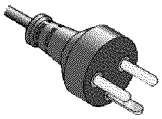
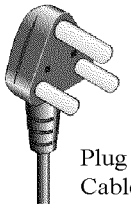
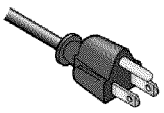
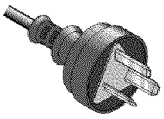
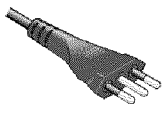
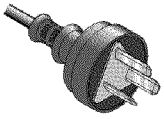
警告 **損傷を受けた形跡のある電源ケーブルは絶対に使用しないでください。感電する恐れがあります。**

手順 2. E5071C リア・パネルの電源ケーブル・レセプタクル（図 2-8 参照）と、接地端子が確実に接地された 3 極電源コンセントを付属の電源ケーブルで接続します。

警告 **E5071C を、付属の接地線付き 3 芯電源ケーブルを用いて確実に接地してください。**

参考のため、図 2-5 に電源ケーブル・オプションを示します。

図 2-5　　電源ケーブルオプション

OPTION 900 United Kingdom  Plug : BS 1363/A, 250V, 10A Cable: 8120-1351, 8120-8705	OPTION 901 Australia/ New Zealand  Plug : AS 3112, 250V, 10A Cable: 8120-1369
OPTION 902 Continental Europe  Plug : CEE 7 Standard Sheet VII, 250V, 10A Cable: 8120-1689	OPTION 903 U.S./ Canada  Plug : NEMA 5-15P, 125V, 10A Cable: 8120-1378
OPTION 904 U.S./ Canada Plug : NEMA 6-15P, 250V, 6A Cable: 8120-0698	OPTION 906 Switzerland  Plug : SEV Type 12, 250V, 10A Cable: 8120-2104
OPTION 912 Denmark  Plug : SR 107-2-D, 250V, 10A Cable: 8120-2956	OPTION 917 India/ Republic of S.Africa  Plug : IEC 83-B1, 250V, 10A Cable: 8120-4211
OPTION 918 Japan  Plug : JIS C 8303, 125V, 12A Cable: 8120-4753	OPTION 920 Argentina  Plug : Argentine Resolution 63, Annex IV, 250V, 10A Cable: 8120-6870
OPTION 921 Chile  Plug : CEI 23-16, 250V, 10A Cable: 8120-6978	OPTION 922 China  Plug : GB 1002, 250V, 10A Cable: 8120-8376
注記　添付の電源ケーブル以外の電源ケーブルが必要な場合は、最寄りのアジレントのセールス・オフィスにお問い合わせください。	

power_j

ヒューズ切れについて

使用中にヒューズが切れたと思われる場合は、本器の故障の可能性があり修理が必要です。巻末のアジレント・テクノロジー計測お客様窓口までご連絡ください。

本器で使用しているヒューズの規格： UL/CSA Type、Slow-Blo、6.3A-250V

警告 **ユーザ自身によるヒューズの交換は、危険ですので決して行わないでください。**

E5071C の起動

この節では、E5071C の電源のオン･オフおよび緊急時に電源供給を切断する方法について説明します。

電源のオン･オフ

下記の手順にしたがって、電源をオンまたはオフにします。

リムーバルハードディスクドライブの確認

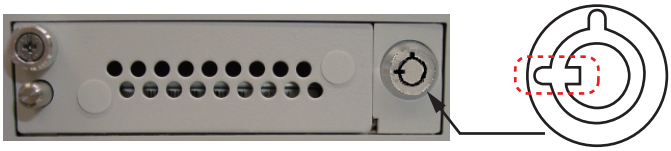
手順　電源が入ったとき、切り欠き位置が下記のとおり設定されていることを確認してください。

注記　切り欠き位置が下記のとおり設定されない場合、電源を入れた際にエラーメッセージ "OS not found" が表示されます。

図 2-6　リムーバルハードディスクドライブ

e5071cse3009

図 2-7　オプション 017 リムーバルハードディスクドライブ



e5071cse3008

電源のオン

手順 1. リア・パネルのライン・スイッチがオンになっているか確認します。このスイッチは常時オンになっていなければなりません。

手順 2. フロント・パネル左下のスタンバイ・スイッチ（⏻）が引き出された状態（⏻）になっていることを確認します。もし、押し込まれた状態（⏻）で電源がオフになっている場合には、スタンバイ・スイッチを押してスイッチが引

き出された状態（ ）にします。

手順 3. スタンバイ・スイッチを押して、スイッチが押し込まれた状態（ ）します。

この操作により、電源が投入されて E5071C はセルフ・テストを実行します。

手順 4. 実行されたセルフ・テストに合格したことを確認します。

エラー・メッセージが表示されなければ、セルフ・テストに合格したことになります。

電源のオフ

手順 1. 以下のいずれかの方法で E5071C の電源をオフにします。

- フロント・パネル左下のスタンバイ・スイッチ（ ）を押して、押し込まれた状態（ ）から引き出された状態（ ）にします。
- Windows メニューから **Turn Off Computer** を押します。

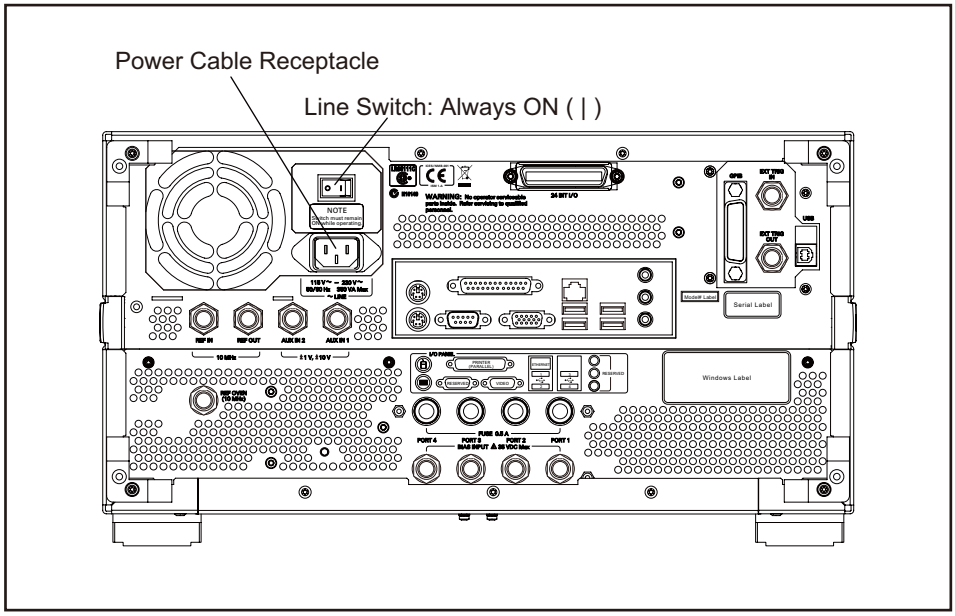
この操作により、E5071C のシャットダウン･プロセス（電源をオフにするために必要なソフトウェアおよびハードウェアの処理）が作動し、数秒～十数秒後に電源がオフになります。

注記

通常の使用時に E5071C の電源をオフにする際は、必ずスタンバイ・スイッチ（ ）を押すか、外部コントローラからシャットダウン・コマンド送って、E5071C のシャットダウン・プロセスを作動させてください。**通常の使用時には、リア・パネルの電源ケーブル・レセプタクルへの電源供給を直接断つことは決してしないでください。**

電源ケーブル・レセプタクルへの電源供給を直接断つと、シャットダウン・プロセスが作動せず、E5071C のソフトウェアおよびハードウェアに損傷を与え、故障の原因になります。

図 2-8 電源スイッチ（常時オン）



e5071cqe1003

電源供給の切断について

E5071C の場合、断路装置（電源供給を切断する装置）に相当するものは、電源ケーブルのプラグ（電源コンセント側または E5071C 側）です。
感電事故などの危険を回避するために電源供給を切断する必要が生じた場合には、電源ケーブルのプラグ（電源コンセント側または E5071C 側）を引き抜いてください。

注記

この操作が確実に行えるように、「電源ケーブルのプラグを引き抜くための空間確保」(16 ページ) の記述に従ってください。

通常の使用において電源をオフにする際は、必ず「電源のオフ」(25 ページ) に示す方法に従ってください。

リムーバブル・ハードディスクの付け方 / 外し方 (For Option 017 User)

リムーバブル・ハードディスクの付け方と外し方についての詳細は、以下のウェブサイトを参照して下さい。

http://ena.tm.agilent.com/e5071c/manuals/webhelp/eng/

E5071C の初期登録

初めて E5071C を起動する際には、E5071C の Windows XP オペレーティング・システムの初期登録を行います。

注記 E5071C の初期登録を行う際は、フロント・パネルのキーは使用できませんので、必ず電源を投入する前にマウスとキーボードを接続してください。

注記 下記実行手順を誤って操作した場合には、もとの登録画面に戻って登録作業を行うか否かのメッセージが表示されるので、その指示に従ってもとの登録画面に戻るように操作してください。

手順 1. E5071C の電源をオンにします。

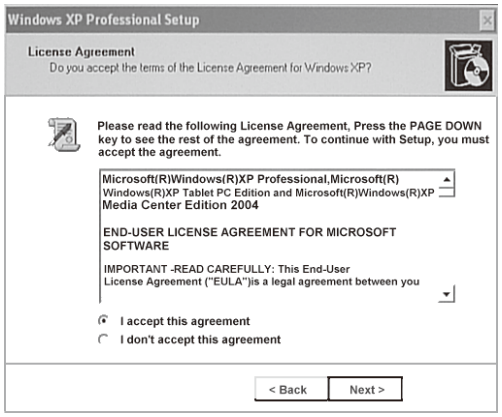
手順 2. Windows XP Professional Setup ウィザードが表示されるので、**Next >** ボタンをクリックします（図 2-9）。

図 2-9 Windows XP Professional Setup ウィザード

e5071cse1073

手順 3. Windows XP Professional Setup ダイアログ・ボックスが表示されるので、**I accept this agreement** ボックスを選択し、**Next >** ボタンをクリックします。

図 2-10 Windows XP Professional Setup ダイアログ・ボックス (1/2)


Windows XP Professional Setup
License Agreement
Do you accept the terms of the License Agreement for Windows XP?
Please read the following License Agreement, Press the PAGE DOWN key to see the rest of the agreement. To continue with Setup, you must accept the agreement.
Microsoft(R)Windows(R)XP Professional,Microsoft(R) Windows(R)XP Tablet PC Edition and Microsoft(R)Windows(R)XP Media Center Edition 2004
END-USER LICENSE AGREEMENT FOR MICROSOFT SOFTWARE
IMPORTANT -READ CAREFULLY: This End-User License Agreement ("EULA")is a legal agreement between you
I accept this agreement
I don't accept this agreement
< Back
Next >

e5071cse1074

手順 4. 続いて現れるダイアログ・ボックスにおいて、**Name** ボックスに **agena** と入力し、**Next>** ボタンをクリックします (図 2-11)。

図 2-11 Windows XP Professional Setup ダイアログ・ボックス (2/2)

Windows XP Professional Setup
Personalize Your Software
Setup uses the information you provide about yourself to personalize your Windows XP software.
Type your full name and the name of your company or organization
Name
agena
Organization
< Back
Next >

e5071cse1075

手順 5. その後、E5071C は自動的に再起動し、測定画面が表示されます。

タッチスクリーンの補正

E5071C の測定画面が表示されたら、タッチスクリーンの補正を行います。下記の手順にしたがってください。

手順 1. System を押します。

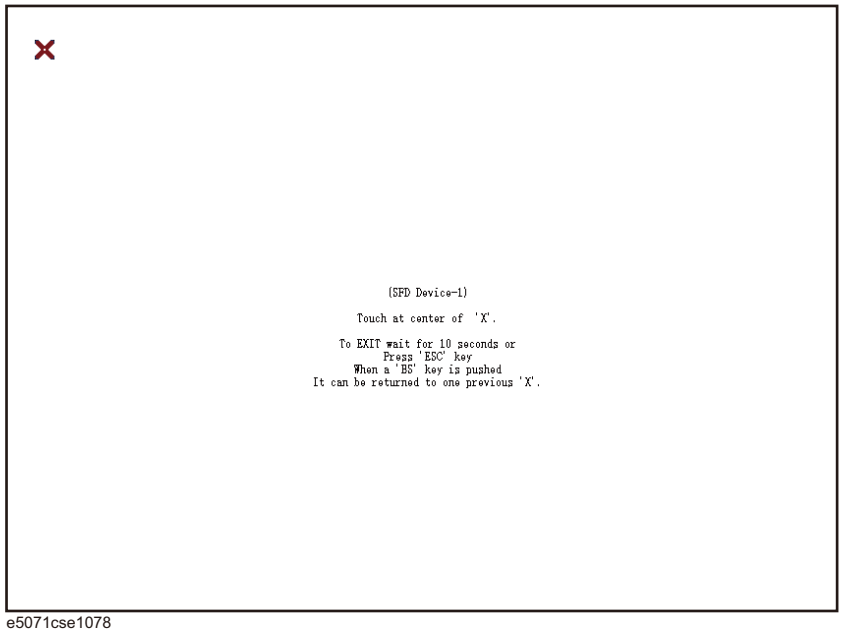
手順 2. **Service Menu** を押します。

手順 3. **Test Menu** を押します。

手順 4. **Adjust Touch Screen** を押します。

タッチスクリーン補正画面が表示されます（図 2-12）。

図 2-12　タッチパネル校正画面



e5071cse1078

手順 5. 画面左上の x マークを指でタッチします。x マークは続いて、画面右上、左下、右下の順で現れますので、この順番に指でタッチしてください。

上記の要領で 4 箇所をタッチすることにより、タッチスクリーンの補正は自動的に終了します。

注記　一定時間内にタッチスクリーンの補正が行われない場合、補正画面は自動的に閉じ、もとの測定画面が再び表示されます。

第 3 章　トラブルシューティング

本章では、起動時のトラブルの対処法および Windows XP が故障した場合のオペレーティング・システムのリカバリついて説明します。

起動時のトラブルとその対処法

起動時にトラブルが起こった場合には、表 3-1 をご覧ください。システム・リカバリを実行することによって、ほとんどの問題を解決できます。

表 3-1 起動時のトラブルとその対処法

症状	対処法
スタンバイ・スイッチをオン（|）にしても、全く起動しない。	電源ケーブルが外れていないか確認してください。 リア・パネルの電源スイッチがオンになっているか確認してください。
起動しても、すぐに自動的にシャット・ダウンしてしまう。	システム・リカバリを実行してください。
起動しても、サービス・モード（画面右下の機器ステータス・バーに赤色で SVC と表示される）になってしまう。	
起動して測定画面になるが、パワー・オン・テストが不合格となり、エラー・メッセージ 241 が画面左下の機器メッセージ／警告エリアに赤色の背景で表示される。	

システム・リカバリ

システム・リカバリを実行すると、E5071C のシステム（Windows オペレーティング・システム、およびファームウェア）を工場出荷時（購入時*1）の状態に戻すことができます。

システム・リカバリの種類

システム・リカバリは以下の 2 つの方法があります。

- ファクトリ・リカバリ

  C および D ドライブの内容を工場出荷時の状態に戻します。

- ユーザ・リカバリ

  C および D ドライブの内容をユーザが任意で設定した状態に戻します。この機能を使用するためには、あらかじめリカバリをするための準備が必要です。準備については「ユーザ・バックアップ・イメージの作成」(37 ページ) を、実行については「ユーザ・リカバリの実行手順」(43 ページ) を参照してください。

ファクトリ・リカバリ実行時の注意点

ファクトリ・リカバリを実行した場合、以下のような影響があります。

- Windows オペレーティング・システム、およびファームウェア以外にも、以下の E5071C の設定が、工場出荷時の状態に戻ります。
  - ネットワークの設定
  - GPIB の設定
  - プリンタの設定
- 購入後にユーザによりインストールされたサポート・プリンタのドライバは削除されます。
- 初期登録を再実行する必要があります。

保存機能を使ってユーザが作成したファイル（D ドライブに存在するファイル）は影響を受けませんが、念のためシステム・リカバリ実行前にバックアップをとっておくことをお薦めします。バックアップについての詳細は、E5071C Online Help の "Backing up the data" をご覧ください。

*1. 購入後、ハードディスクが故障して交換した場合は、交換時点です。

ファクトリ・リカバリの実行手順

ここでは、C および D ドライブの内容を工場出荷時の状態に戻す方法について説明します。

注記 ここでの操作にはキーボードが必要です。

手順 1. E5071C をシャットダウンします。

手順 2. USB ポートから全ての USB デバイスを外します。

手順 3. キーボードを E5071C に接続します。

手順 4. E5071C のスタンバイ・スイッチを押して電源を投入します。

手順 5. 下図のような画面が表示されたら、キーボードの F11 を押します。

```
Starting Acronis Loader...
Press F11 for Acronis Startup Recovery Manager...
```

e5071cse1055

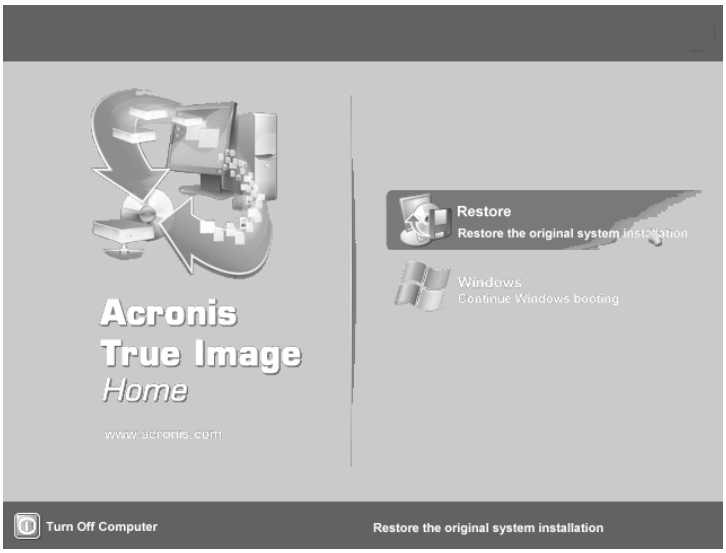
注意 F11 は 1 回だけ押してください。もし 2 回以上押して、本マニュアルに記載されている以外の画面が現れた場合は、その先に進むことなく、再起動を実行して再度初めから作業をやり直して下さい。

注記 数秒経過すると、何もキーを押さなくても、自動的に次の画面に進んでしまいますので、見落とさないようにご注意ください。

注記 手順 5 の後、E5071C がフリーズした場合は、一度電源を落とし不要な USB デバイスを取り外し、キーボードを PS/2 キーボードに変更してから再度実行して下さい。

手順 6. 以下のような画面が表示されたら、**Restore** を選択します。

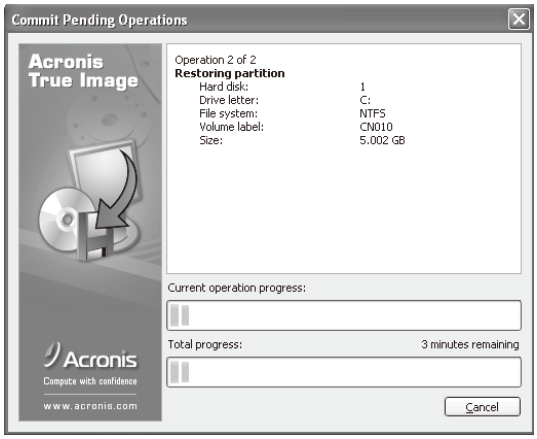
図 3-1 Acronis スタートアップ・リカバリ・マネージャの起動



e5071cse1079

手順 7. 確認のためのダイアログボックスが表示されます。**Yes** を実行し、ファクトリ・バックアップのリカバリを開始します。リカバリはデータの量により数分かかることがあります。

図 3-2 ファクトリ・バックアップのリカバリ



e5071cse1034

手順 8. リカバリが完了したら、OK を実行します。E5071C は自動的に再起動します。

手順 9. 再起動後、初期登録画面が表示されますので、登録を行ってください。実行手順については、「E5071C の初期登録」(28 ページ) を参照してください。

手順 10. タッチスクリーンの補正を行います。実行手順については、「タッチスクリーンの補正」(30 ページ) を参照してください。

注意 E5071C に重大な障害を与える恐れがありますので、システム・リカバリ中は絶対に電源をオフにしないでください。

ユーザ・バックアップ・イメージの作成

本節では、ユーザ・バックアップ・イメージの作成について説明します。この手順で保存されたCおよびDドライブの内容が、ユーザ・リカバリで復元出来ます。

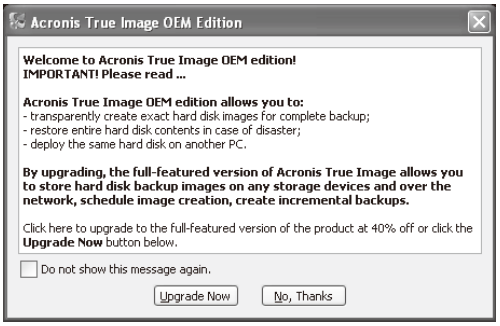
手順 1. **System** キーを押し、表示されるメニューから **Service Menu - Exit** を選択して、E5071C アプリケーションを終了します。

手順 2. 他の開いているアプリケーションを全て閉じます。

手順 3. Windows スタートメニューから **All Programs - Acronis** を選択し、Acronis True Image をスタートさせます。

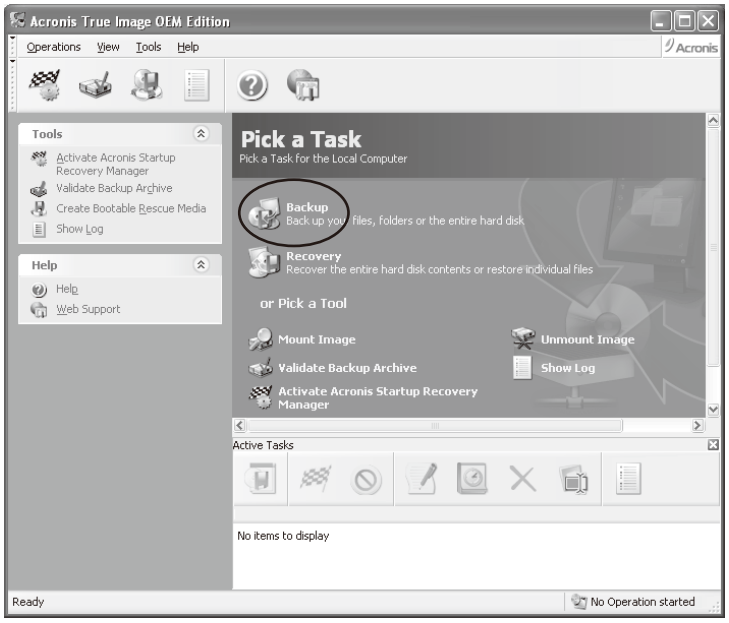
手順 4. "No, Thanks" ボタンをクリックします。

Figure 3-3 ユーザ・バックアップのリカバリ


Acronis True Image OEM Edition
Welcome to Acronis True Image OEM edition!
IMPORTANT! Please read ...
Acronis True Image OEM edition allows you to:
- transparently create exact hard disk images for complete backup;
- restore entire hard disk contents in case of disaster;
- deploy the same hard disk on another PC.
By upgrading, the full-featured version of Acronis True Image allows you to store hard disk backup images on any storage devices and over the network, schedule image creation, create incremental backups.
Click here to upgrade to the full-featured version of the product at 40% off or click the Upgrade Now button below.
Do not show this message again.
Upgrade Now
No, Thanks

e5071cse1080

手順 5. **Backup** をクリックします。



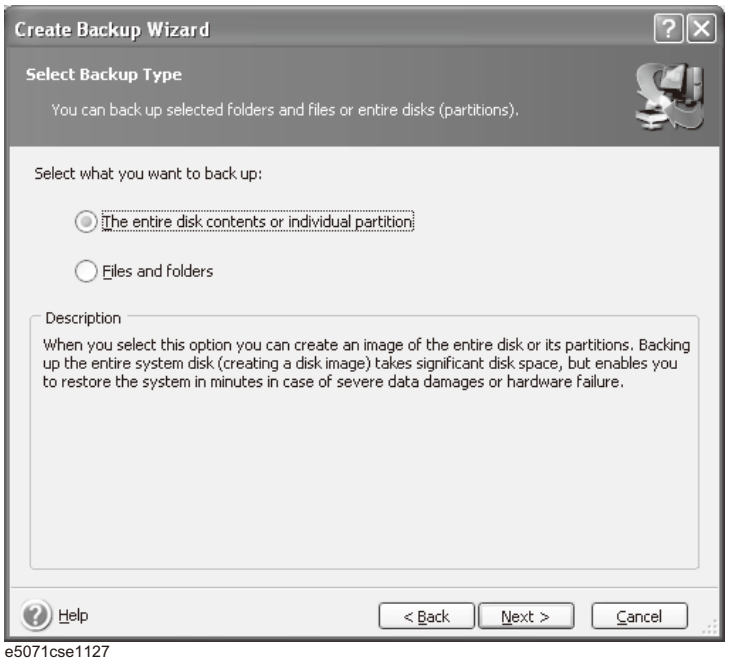
e5071cse1125

手順 6. **Next** ボタンをクリックします。

Create Backup Wizard
Acronis
True Image
Home
www.acronis.com
Welcome to the Create Backup Wizard!
This wizard will guide you through the process of creating, configuring and running the operation of backing up your data. You can create an image of the entire hard disk or a specified partition, as well as back up particular files or folders only. The wizard allows you to create full backup archives or to back up only the changes made since your last backup.
Please click Next to continue.
Help
< Back
Next >
Cancel

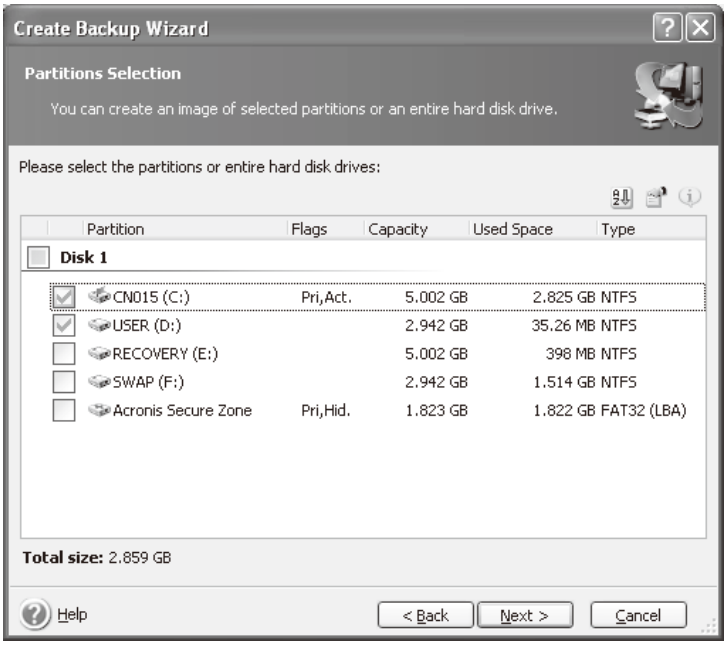
e5071cse1126

手順 7. "The entire disk contents or individual partition" を選び、**Next** ボタンをクリックします。


Create Backup Wizard
Select Backup Type
You can back up selected folders and files or entire disks (partitions).
Select what you want to back up:
The entire disk contents or individual partition
Files and folders
Description
When you select this option you can create an image of the entire disk or its partitions. Backing up the entire system disk (creating a disk image) takes significant disk space, but enables you to restore the system in minutes in case of severe data damages or hardware failure.
Help
< Back
Next >
Cancel

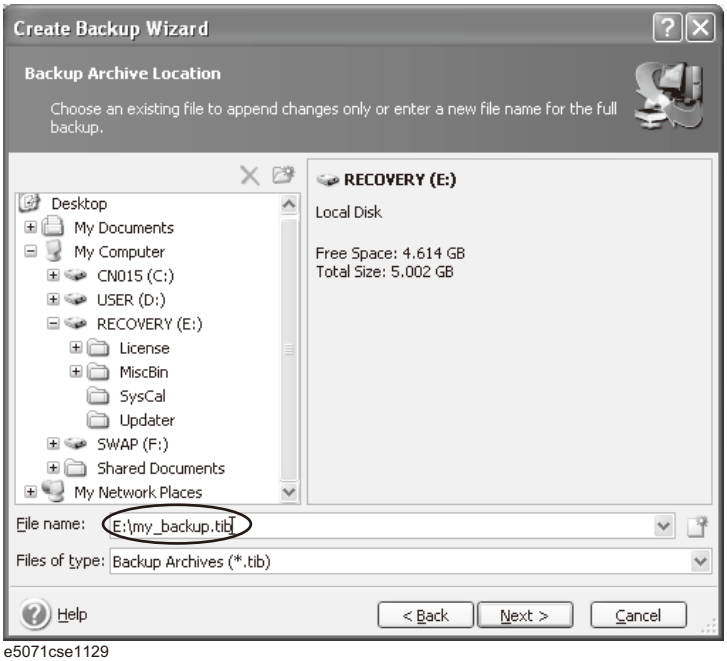
e5071cse1127

手順 8. C ドライブおよびD ドライブを選択します。



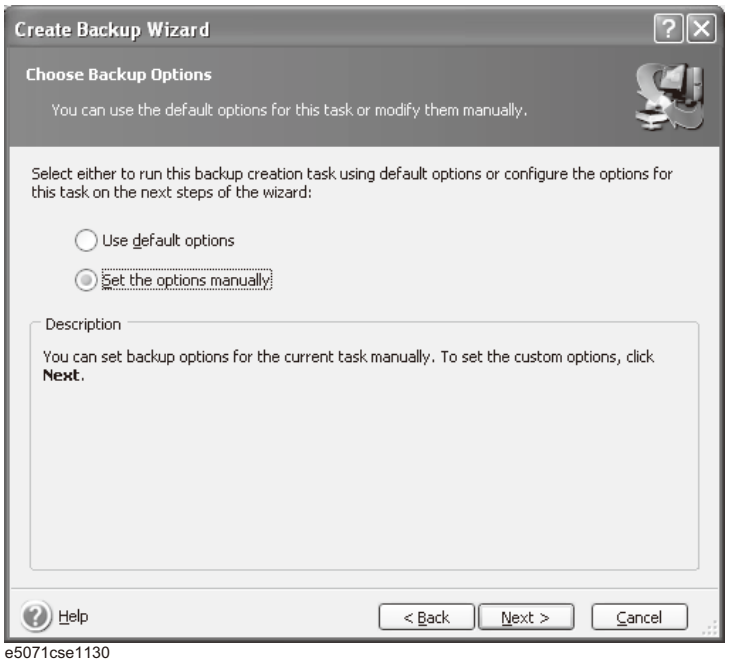
e5071cse1128

手順 9. 移動先フォルダを選択し、ファイル名を入力して **Next** ボタンをクリックします。E ドライブのようなスペースに余裕がある場所にファイルを保存することをお勧めします。また、ドライブの内容をC やD、およびF ドライブには保存しないでください。



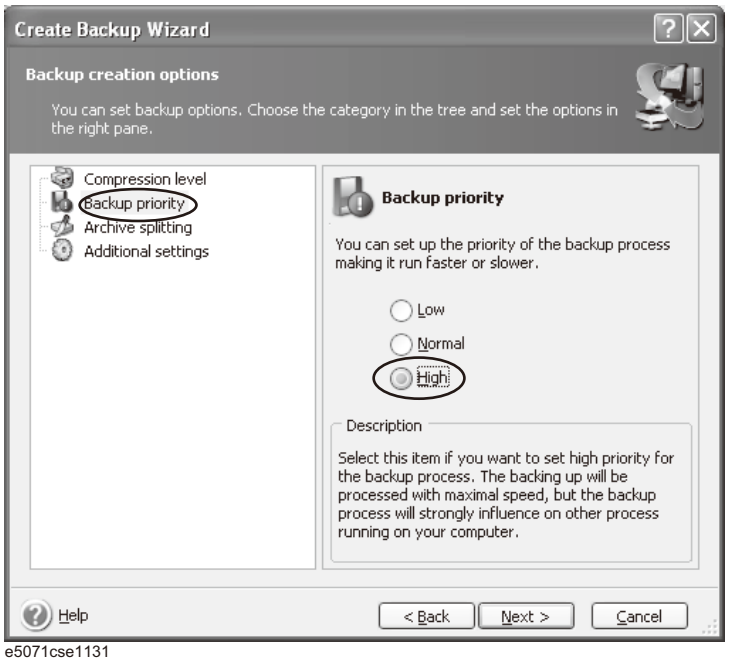
e5071cse1129

手順 10. "Set the options manually" を選択し、**Next** ボタンをクリックします。


Create Backup Wizard
Choose Backup Options
You can use the default options for this task or modify them manually.
Select either to run this backup creation task using default options or configure the options for this task on the next steps of the wizard:
Use default options
Set the options manually
Description
You can set backup options for the current task manually. To set the custom options, click Next.
Help
< Back
Next >
Cancel

e5071cse1130

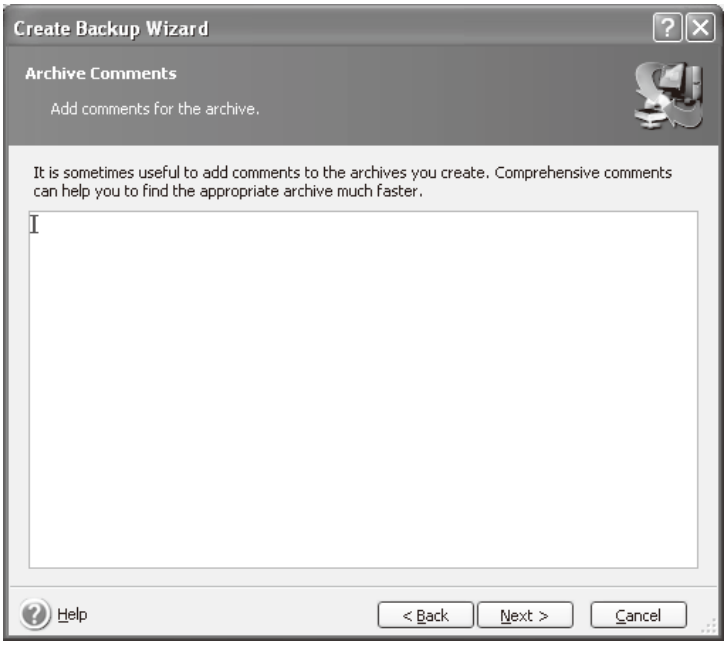
手順 11. 左の欄で "Backup priority" を、右の欄で "High" を選択して、**Next** ボタンをクリックします。


Create Backup Wizard
Backup creation options
You can set backup options. Choose the category in the tree and set the options in the right pane.
Compression level
Backup priority
Archive splitting
Additional settings
Backup priority
You can set up the priority of the backup process making it run faster or slower.
Low
Normal
High
Description
Select this item if you want to set high priority for the backup process. The backing up will be processed with maximal speed, but the backup process will strongly influence on other process running on your computer.
Help
< Back
Next >
Cancel

e5071cse1131

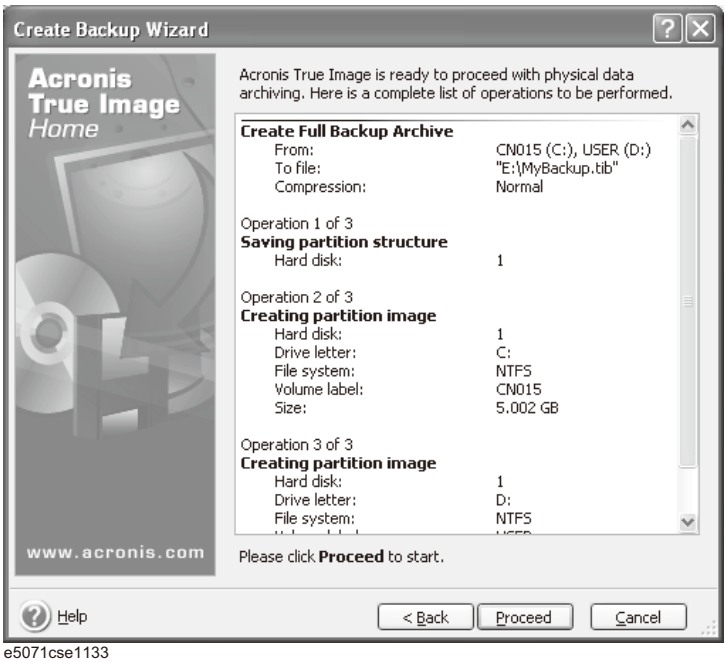
手順 12. 必要に応じてコメントを入力し、**Next** ボタンをクリックします。コメントは省く

こともできます。


Create Backup Wizard
Archive Comments
Add comments for the archive.
It is sometimes useful to add comments to the archives you create. Comprehensive comments can help you to find the appropriate archive much faster.
Help
< Back
Next >
Cancel

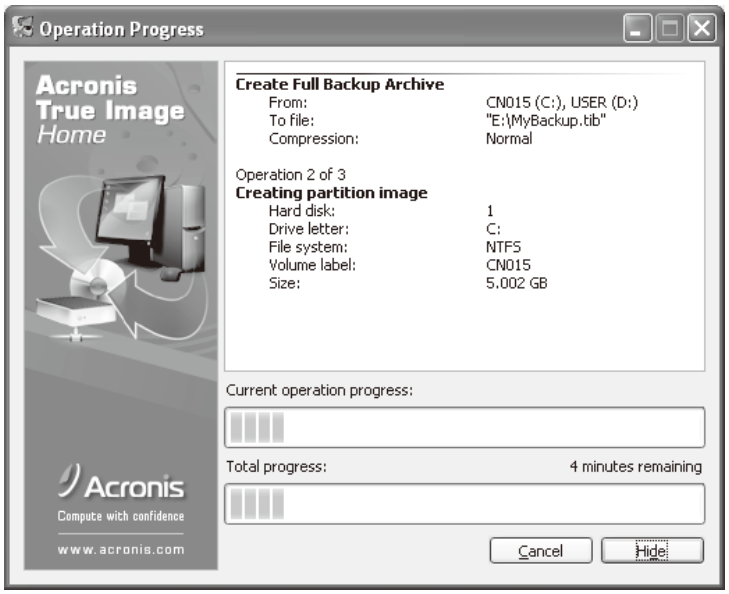
e5071cse1132

手順 13. **Proceed** ボタンをクリックします。



e5071cse1133

手順 14. バックアップ中は以下の画面が表示されます。



e5071cse1134

手順 15. バックアップ・イメージの作成が完了すれば、下記のダイアログ・ボックスが表示されるので、**OK** をクリックします。

e5071cse1135

注意 E5071C に重大な障害を与える恐れがありますので、ユーザ・バックアップ・イメージの作成中は絶対に電源をオフにしないでください。

ユーザ・リカバリの実行手順

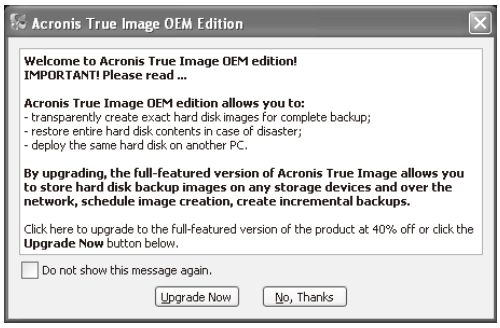
C および D ドライブの内容をユーザが任意で設定した状態に戻します。この機能を使用するためには、前もってユーザ・バックアップ・イメージを作成する必要があります。詳しくは「ユーザ・バックアップ・イメージの作成」(37 ページ) をご覧ください。

手順 1. **System** キーを押し、表示されるメニューから **Service Menu - Exit** を選択して、E5071C を閉じます。

手順 2. 他の開いているアプリケーションを全て閉じます。

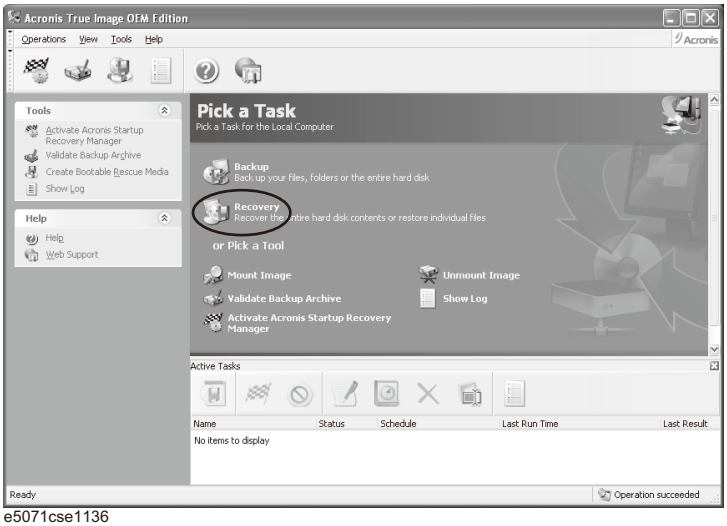
手順 3. Windows スタートメニューから **All Programs - Acronis** を選択し、Acronis True Image をスタートさせます。

手順 4. "No, Thanks" ボタンをクリックします。


Acronis True Image OEM Edition
Welcome to Acronis True Image OEM edition!
IMPORTANT! Please read ...
Acronis True Image OEM edition allows you to:
- transparently create exact hard disk images for complete backup;
- restore entire hard disk contents in case of disaster;
- deploy the same hard disk on another PC.
By upgrading, the full-featured version of Acronis True Image allows you to store hard disk backup images on any storage devices and over the network, schedule image creation, create incremental backups.
Click here to upgrade to the full-featured version of the product at 40% off or click the Upgrade Now button below.
Do not show this message again.
Upgrade Now
No, Thanks

e5071cse1080

手順 5. **Recovery** をクリックします。

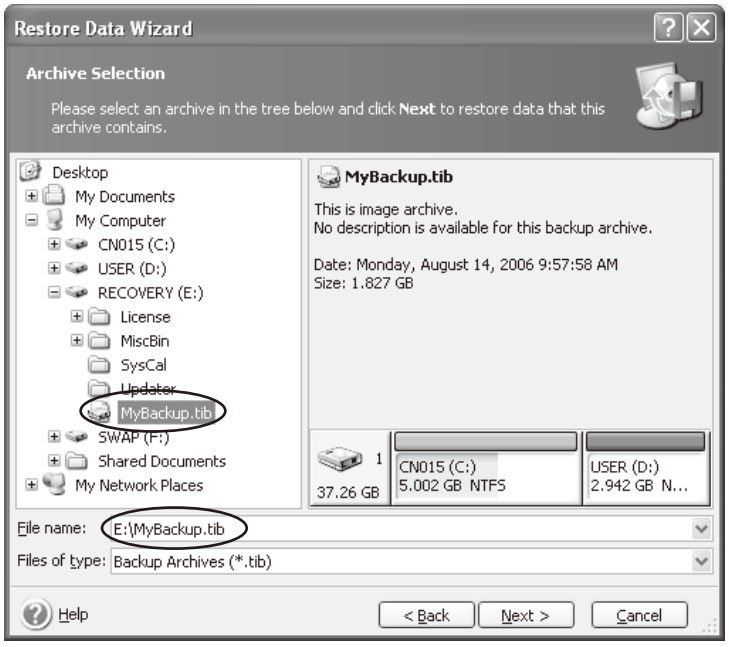


e5071cse1136

手順 6. **Next** ボタンをクリックします。

e5071cse1137

手順 7. 保存されたバックアップ・イメージファイルを選択し、**Next** ボタンをクリックします。



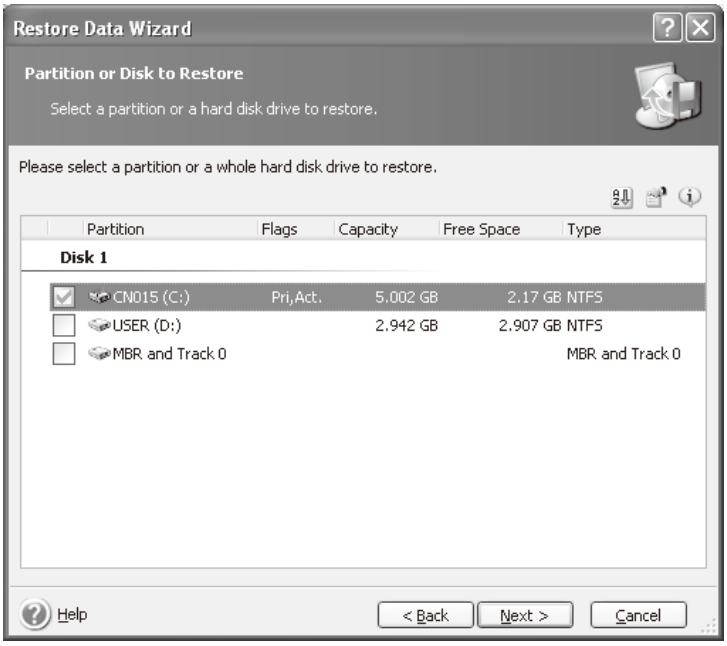
e5071cse1138

手順 8. "Restore disks or partitions" を選択し、**Next** ボタンをクリックします。

Restore Data Wizard
Restoration Type Selection
You can select type of backup archive restoration.
Select one of the following restoration types:
Restore disks or partitions
Restore specified files or folders
Description
Select this option if you want to restore a disk or partition entirely.
Help
< Back
Next >
Cancel

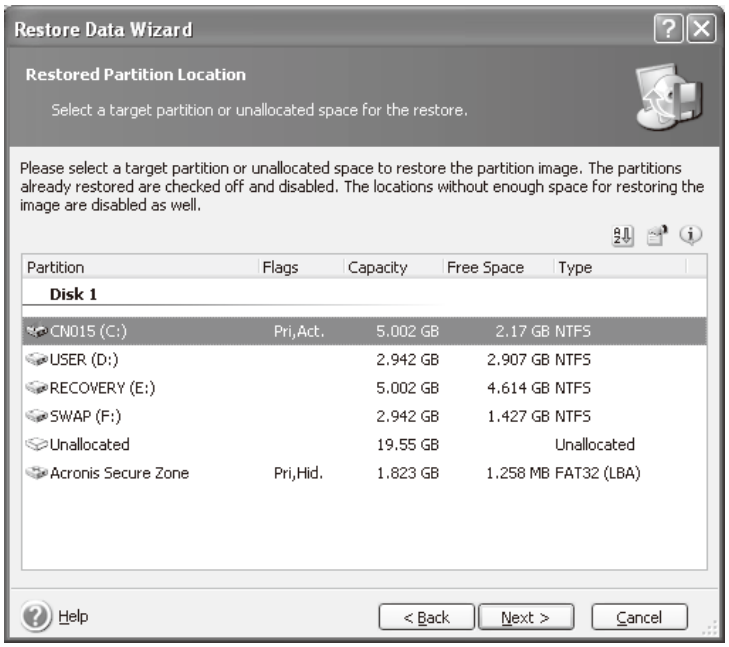
e5071cse1139

手順 9. C ドライブを選択し、**Next** ボタンをクリックします。



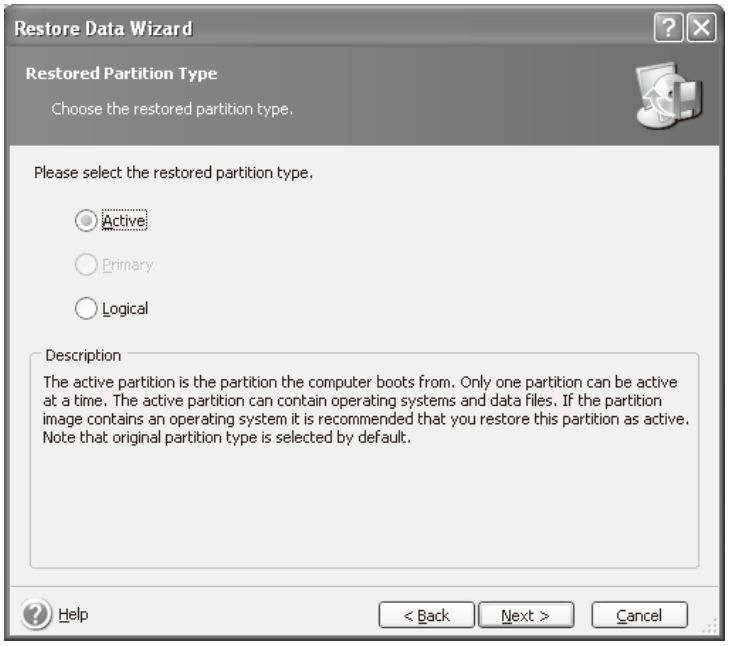
e5071cse1143

手順 10. 修復するＣドライブを選択し、**Next** ボタンをクリックします。


Restore Data Wizard
Restored Partition Location
Select a target partition or unallocated space for the restore.
Please select a target partition or unallocated space to restore the partition image. The partitions already restored are checked off and disabled. The locations without enough space for restoring the image are disabled as well.
Partition
Flags
Capacity
Free Space
Type
Disk 1
CN015 (C:) Pri,Act. 5.002 GB 2.17 GB NTFS
USER (D:) 2.942 GB 2.907 GB NTFS
RECOVERY (E:) 5.002 GB 4.614 GB NTFS
SWAP (F:) 2.942 GB 1.427 GB NTFS
Unallocated 19.55 GB Unallocated
Acronis Secure Zone Pri,Hid. 1.823 GB 1.258 MB FAT32 (LBA)
Help
< Back
Next >
Cancel

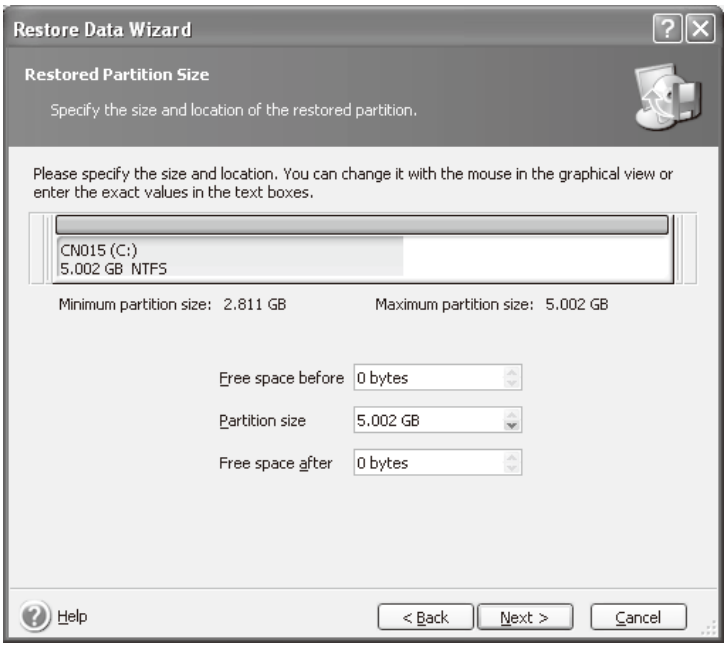
e5071cse1144

手順 11. "Active"を選択し、**Next** ボタンをクリックします。


Restore Data Wizard
Restored Partition Type
Choose the restored partition type.
Please select the restored partition type.
Active
Primary
Logical
Description
The active partition is the partition the computer boots from. Only one partition can be active at a time. The active partition can contain operating systems and data files. If the partition image contains an operating system it is recommended that you restore this partition as active. Note that original partition type is selected by default.
Help
< Back
Next >
Cancel

e5071cse1145

手順 12. **Next** ボタンをクリックします。


Restore Data Wizard
Restored Partition Size
Specify the size and location of the restored partition.
Please specify the size and location. You can change it with the mouse in the graphical view or enter the exact values in the text boxes.
CN015 (C:)
5.002 GB NTFS
Minimum partition size: 2.811 GB
Maximum partition size: 5.002 GB
Free space before
0 bytes
Partition size
5.002 GB
Free space after
0 bytes
Help
< Back
Next >
Cancel

e5071cse1146

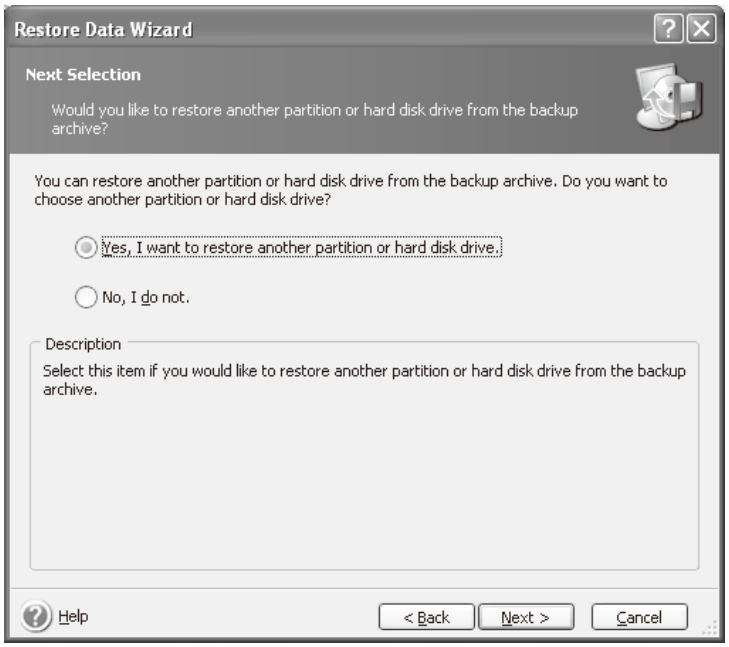
手順 13. "Yes, I want to assign a logical drive letter to the restored partition" を選択し、**Next** ボタンをクリックします。

Restore Data Wizard
Logical Drive Letter
Specify a drive letter for the restored partition.
Please choose a drive letter for the restored partition.
No thank you. I do not want to assign a letter.
Yes, I want to assign a logical drive letter to the restored partition.
C:
Description
Select this item if you want to assign a drive letter to the restored partition. Please choose a drive letter from the list.
Help
< Back
Next >
Cancel

e5071cse1147

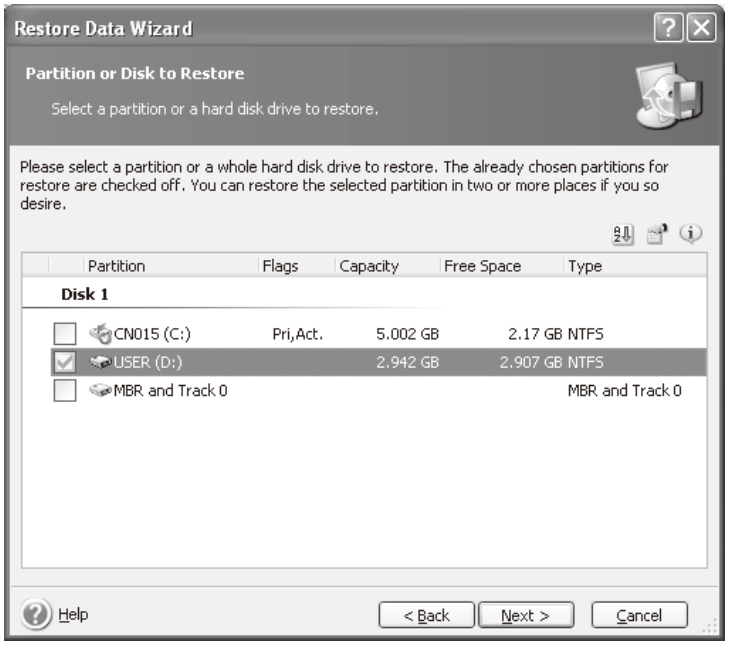
手順 14. "Yes, I want to restore another partition or hard disk drive" を選択し、

Next ボタンをクリックします。



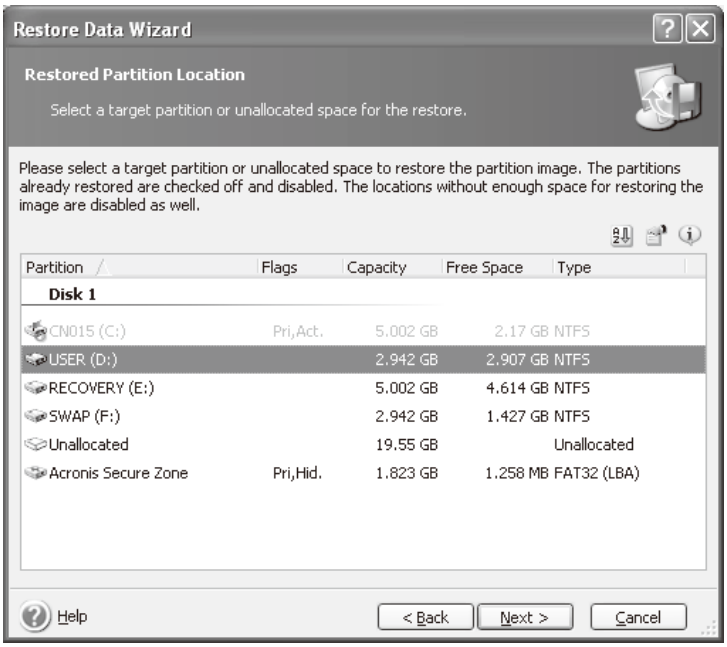
e5071cse1148

手順 15. D ドライブを選択し、**Next** ボタンをクリックします。



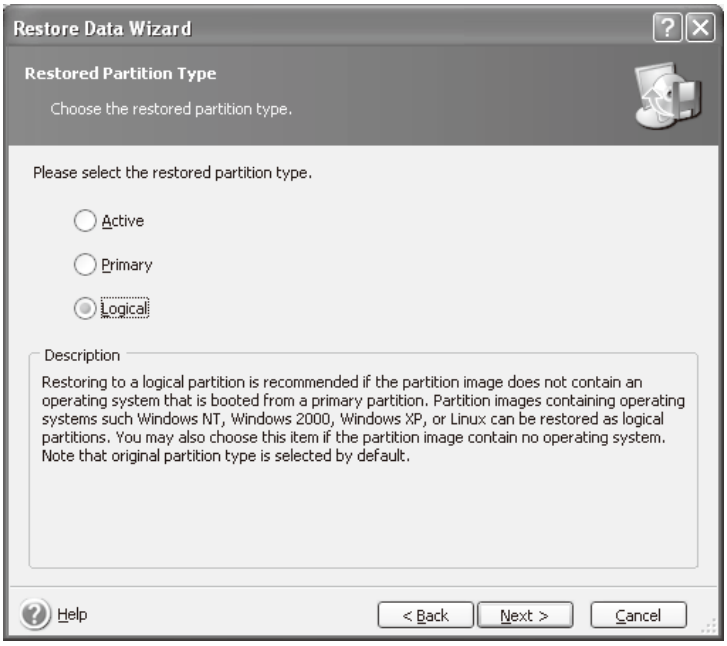
e5071cse1149

手順 16. 修復するDドライブを選択し、**Next** ボタンをクリックします。


Restore Data Wizard
Restored Partition Location
Select a target partition or unallocated space for the restore.
Please select a target partition or unallocated space to restore the partition image. The partitions already restored are checked off and disabled. The locations without enough space for restoring the image are disabled as well.
Partition
Flags
Capacity
Free Space
Type
Disk 1
CN015 (C:) Pri,Act. 5.002 GB 2.17 GB NTFS
USER (D:) 2.942 GB 2.907 GB NTFS
RECOVERY (E:) 5.002 GB 4.614 GB NTFS
SWAP (F:) 2.942 GB 1.427 GB NTFS
Unallocated 19.55 GB Unallocated
Acronis Secure Zone Pri,Hid. 1.823 GB 1.258 MB FAT32 (LBA)
Help
< Back
Next >
Cancel

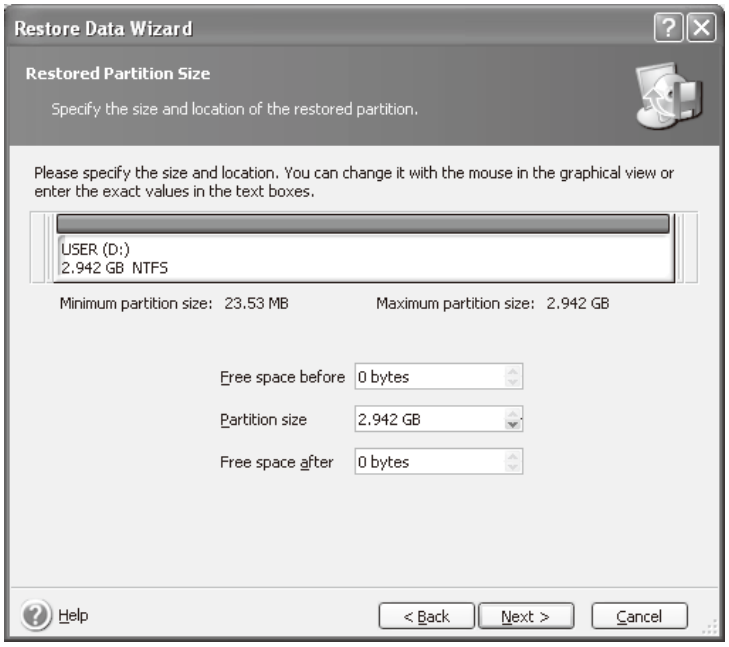
e5071cse1150

手順 17. Logical を選択し、**Next** ボタンをクリックします。


Restore Data Wizard
Restored Partition Type
Choose the restored partition type.
Please select the restored partition type.
Active
Primary
Logical
Description
Restoring to a logical partition is recommended if the partition image does not contain an operating system that is booted from a primary partition. Partition images containing operating systems such Windows NT, Windows 2000, Windows XP, or Linux can be restored as logical partitions. You may also choose this item if the partition image contain no operating system. Note that original partition type is selected by default.
Help
< Back
Next >
Cancel

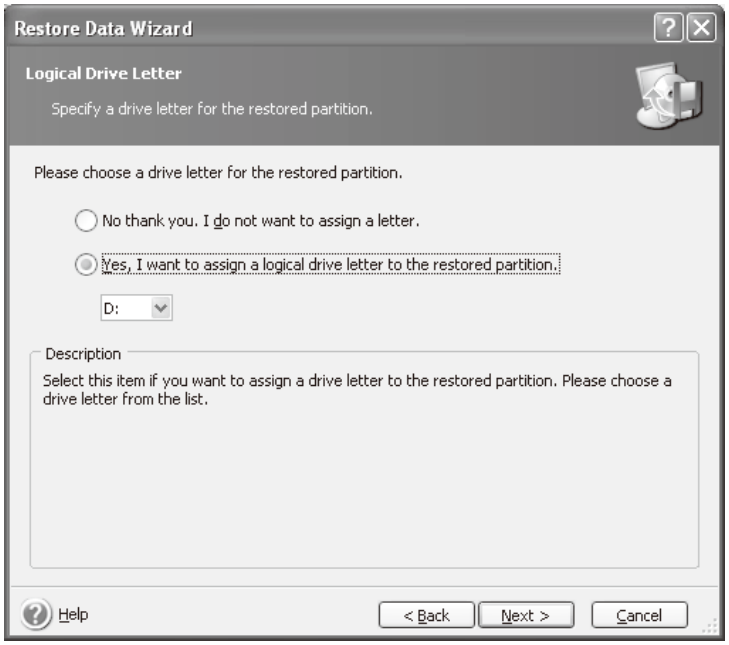
e5071cse1151

手順 18. **Next** ボタンをクリックします。


Restore Data Wizard
Restored Partition Size
Specify the size and location of the restored partition.
Please specify the size and location. You can change it with the mouse in the graphical view or enter the exact values in the text boxes.
USER (D:)
2.942 GB NTFS
Minimum partition size: 23.53 MB
Maximum partition size: 2.942 GB
Free space before
0 bytes
Partition size
2.942 GB
Free space after
0 bytes
Help
< Back
Next >
Cancel

e5071cse1152

手順 19. "Yes, I want to assign a logical drive letter to the restored partition" を選択し、**Next** ボタンをクリックします。


Restore Data Wizard
Logical Drive Letter
Specify a drive letter for the restored partition.
Please choose a drive letter for the restored partition.
No thank you. I do not want to assign a letter.
Yes, I want to assign a logical drive letter to the restored partition.
D:
Description
Select this item if you want to assign a drive letter to the restored partition. Please choose a drive letter from the list.
Help
< Back
Next >
Cancel

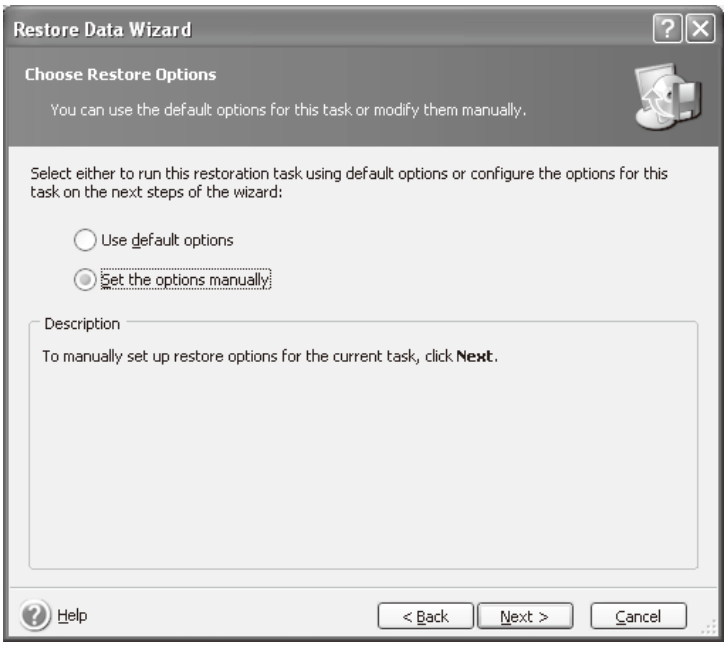
e5071cse1153

手順 20. "No, I do not" を選択し、**Next** ボタンをクリックします。

Restore Data Wizard
Next Selection
Would you like to restore another partition or hard disk drive from the backup archive?
You can restore another partition or hard disk drive from the backup archive. Do you want to choose another partition or hard disk drive?
Yes, I want to restore another partition or hard disk drive.
No, I do not.
Description
Select this item if you have chosen all the partitions and hard disk drives you would like to restore and are now ready to proceed with restoration.
Help
< Back
Next >
Cancel

e5071cse1154

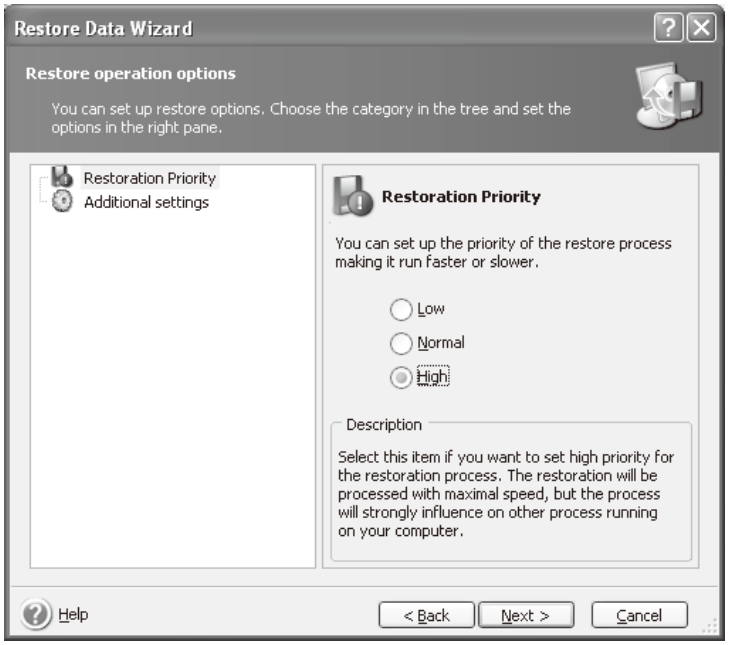
手順 21. "Set the options manually" を選択し、**Next** ボタンをクリックします。


Restore Data Wizard
Choose Restore Options
You can use the default options for this task or modify them manually.
Select either to run this restoration task using default options or configure the options for this task on the next steps of the wizard:
Use default options
Set the options manually
Description
To manually set up restore options for the current task, click Next.
Help
< Back
Next >
Cancel

e5071cse1155

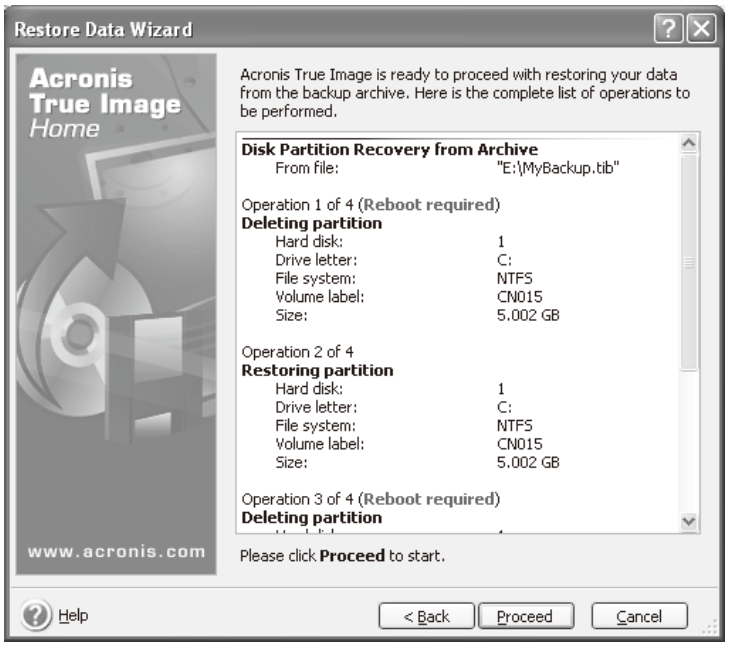
手順 22. 左の欄で "Restoration Priority" を右の欄で "High" を選択し、**Next** ボタンをク

リックします。


Restore Data Wizard
Restore operation options
You can set up restore options. Choose the category in the tree and set the options in the right pane.
Restoration Priority
Additional settings
Restoration Priority
You can set up the priority of the restore process making it run faster or slower.
Low
Normal
High
Description
Select this item if you want to set high priority for the restoration process. The restoration will be processed with maximal speed, but the process will strongly influence on other process running on your computer.
Help
< Back
Next >
Cancel

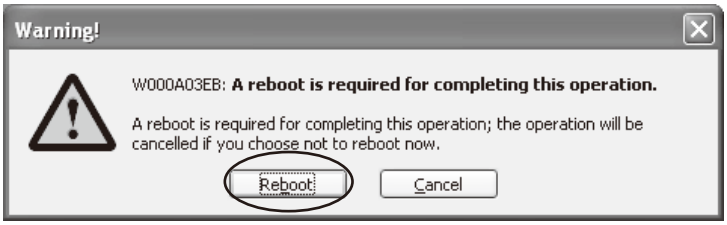
e5071cse1156

手順 23. **Proceed** をクリックします。



e5071cse1157

手順 24. **Reboot** ボタンをクリックします。



e5071cse1158

注意 **E5071C に重大な障害を与える恐れがありますので、ユーザ・バックアップ・イメージのリカバリ中は絶対に電源をオフにしないでください。**

手順 25. 再起動後、「E5071C の初期登録」（28 ページ）および「タッチスクリーンの補正」（30 ページ）を実行します。